

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公開番号】特開 2001-199702 (P2001-199702A)  
 【公開日】平成 13 年 7 月 24 日 (2001.7.24)  
 【出願番号】特願 2000-5502 (P2000-5502)  
 【国際特許分類】

**C 0 1 B 3/32 (2006.01)**  
**H 0 1 M 8/04 (2006.01)**  
**H 0 1 M 8/06 (2006.01)**  
**H 0 1 M 8/10 (2006.01)**

【F I】

C 0 1 B 3/32 Z  
 H 0 1 M 8/04 J  
 H 0 1 M 8/04 X  
 H 0 1 M 8/06 G  
 H 0 1 M 8/10

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 12 月 5 日 (2006.12.5)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 原料と水とを反応させる改質触媒体を有し、改質ガスを生成する改質部と、前記改質ガス中の一酸化炭素を酸化する浄化触媒体を有する浄化部とを備え、前記浄化部に凝縮水排出口を設けたことを特徴とする水素発生装置。

【請求項 2】 前記凝縮水排出口に開閉弁を備え、起動時の一定時間、前記開閉弁の開動作を行うことを特徴とする請求項 1 記載の水素発生装置。

【請求項 3】 前記改質部に不活性ガスの供給を行うパージガス供給部と、前記凝縮水排出口に開閉弁とを備え、起動前に、前記パージガス供給部からの不活性ガス供給によるパージ運転始動と前記開閉弁の開動作とを同期させることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の水素発生装置。

【請求項 4】 請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の水素発生装置と、前記水素発生装置より供給される水素リッチガス及び酸化剤ガスを用いて発電する燃料電池とを備える燃料電池システム。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 9  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】

本発明の水素発生装置は上記課題を解決するために、原料と水とを反応させる改質触媒体を有し、改質ガスを生成する改質部と、前記改質ガス中の一酸化炭素を酸化する浄化触媒体を有する浄化部とを備え、前記浄化部に凝縮水排出口を設けたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0010  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0011  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0011】

また、本発明の水素発生装置は、前記凝縮水排出口に開閉弁を備え、起動時の一定時間、前記開閉弁の開動作を行うことが望ましい。

【手続補正5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0012  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0012】

また、本発明の水素発生装置は、前記改質部に不活性ガスの供給を行うパージガス供給部と、前記凝縮水排出口に開閉弁とを備え、起動前に、前記パージガス供給部からの不活性ガス供給によるパージ運転始動と前記開閉弁の開動作とを同期させることが有効である。

【手続補正6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0013  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0013】

また、本発明の燃料電池システムは、上記本発明の水素発生装置と、前記水素発生装置より供給される水素リッチガス及び酸化剤ガスを用いて発電する燃料電池とを備えることを特徴とする。